

# 令和4年度事業報告書概要（お台場海浜公園外11公園）

指定管理者：東京臨海副都心グループ

## 1 管理状況

### ○ 適切な管理の履行

- ・お台場海浜公園、シンボルプロムナード公園の便所清掃  
新型コロナウイルス感染拡大防止対策の緩和やインバウンドが戻り始めたことから、毎日の衛生器具等の清掃を実施するとともに巡回により汚れを発見した際は即座に清掃を行いました。
- ・シンボルプロムナード公園の緑地管理  
芝刈り・草刈り等の植込み地管理作業を、該当箇所の利用用途や植物の生育状況に応じて実施しました。基準以上の回数を実施し、維持管理に努めることで来園者にいつでも快適に過ごせる空間を提供しました。
- ・シンボルプロムナード公園の不法駐輪対応  
バイク不法駐輪への対応として、迅速にフェンスの取り付けを完了し、芝生部分には他公園で伐採した竹を再資源化したロープ柵を設置することで、万全な対策を実施しました。



【不法駐輪状況】



【フェンス設置後】

<不法駐輪対応>

- ・暁ふ頭公園のバーベキュー再開の対応  
新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となっていたバーベキューの再開時に、禁止行為について再度認知されるよう注意看板を新たに設置しました。

### ○ 安全性の確保

- ・緊急時アクションマニュアルの確認、防災訓練の実施  
東京都防災会議の「東京都の新たな被害想定」における首都直下型地震や南海トラフ地震などの津波被害に対して、緊急時アクションマニュアルにおける避難誘導内容に問題がないか確認しました。津波に対する避難誘導を防災訓練のシナリオに追加し、迅速で安全な避難誘導訓練を実施しました。  
また、Teams機能を活用することで、リアルタイム映像による情報伝達訓練、掲示板機能を使った情報共有など今までの防災訓練内容を変更し、より利用者の安全を確保するため初動体制を強化しました。



<防災訓練>

- ・有明親水海浜公園 新規開園への取り組み  
開園後の安全な利用に向けた事前措置として、通常利用のほか、隣接する有明アリーナの催し物開催の混雑時に支障とならないよう、園路通行の支障となる樹木の下枝を撤去しました。

## 2 事業効果

### ○ 事業の取組

#### ・お台場海浜公園 観光望遠鏡及び雪吊りの設置

臨海副都心エリアにおける海上公園のロケーションを活かす取り組みとして、環境望遠鏡を公園内に7基設置しました。また、冬の風物詩として、松3本に雪吊りを設置しました。近隣の方々からもこの雪吊りを見ることが冬の楽しみになっているとのご感想をいただき、好評です。また、英語を併記した紹介看板も設置し、増加しつつある海外の方々にも日本の伝統技法の紹介を行いました。



【実施の様子】

<雪吊りの設置>

#### ・シンボルプロムナード公園 情熱のローズガーデン整備

東京2020大会のアートガーデン「情熱の庭」を継承して、新たに一年を通して花を楽しむ「情熱のローズガーデン」を整備しました。また、同ガーデンの花壇ボランティアを立ち上げ、年間延べ248名が参加しました。



【活動の様子：牛迫正秀氏（病害虫）、玉置一裕氏（バラの楽しみ方）、村上敏氏（京成バラ園園長）】

<情熱のローズガーデン>

#### ・デジタルサイネージの開始

デジタルサイネージを活用し、公園内の見所や公園内に生息する危険生物の情報、また他の公園のイベント情報などを来園者が多く足を止める船客待合所とマリンハウスの受付に設置し、公園の魅力を発信しました。

### ○ 利用の状況

#### ・お台場海浜公園

令和3年度は東京2020大会の開催及び関連工事に伴い大部分が閉鎖されていましたが、令和4年度は全域が開園となり、また、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置などの終了によりイベントが多数開催されたことで、前年度に比べ大幅に増加しました。

### ○ 行政目的の達成

#### ・PCR検査場設置への協力

都が設置する無料のPCR一般検査場設置において、撮影者やイベント、ヘブンアーティストとの利用調整を行い、円滑に設置工事及びPCR検査場の運営が行われるよう協力しました。

3 収支状況（単位：千円）		
項目		金額（税込）
収入計		595,552
内訳	指定管理料	595,552
	利用料金	
支出計		596,282
収支差		-730

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。